

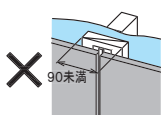
設計施工上の主な禁止事項(センターサイディング)

センターサイディングは、次のような部位や施工法で使用しないでください。不具合をまねく原因となります。



11 下地幅90mm未満での接合部の施工

釘またはビスを留め付ける時に板端部からの距離が不足し、割れの原因になります。

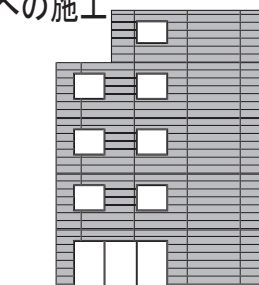


⇒ 下地幅90mm以上の胴縁を使用してください。(段差が発生しないような調整を施す場合は、45mm幅の2本組も可とします。)



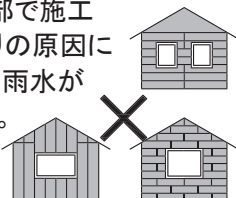
16 適用高さを超える物件への施工

木造リフォームでは高さ13m以下で耐風圧性能に応じて施工してください。



12 乱張り施工

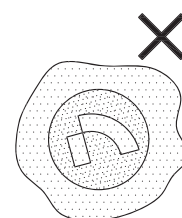
接合部材や水切のジョイントと、センターサイディングの取り合い部で施工不良をまねきやすく、雨漏りの原因になります。また、嵌合部から雨水が浸入するおそれがあります。



⇒ 目地を通す割り付けとしてください。

17 釘頭の不適切な補修

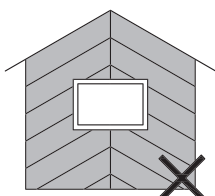
補修塗料を釘頭より広く塗り拡げたり、厚く塗布する、補修塗料の攪拌不足、シーリングの使用などがあると、経年変化などで補修部が目立つ原因となります。



⇒ 補修は目立つ箇所のみとし、周辺に塗り拡げないよう最小限の塗布としてください。

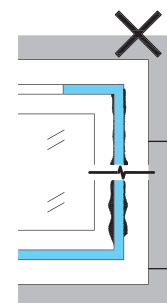
13 斜め張り施工

接合部材や水切のジョイントと、センターサイディングの取り合い部で施工不良をまねきやすく、雨漏りの原因になります。また、嵌合部から雨水が浸入するおそれがあります。



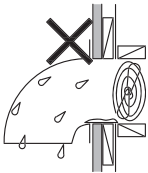
18 シーリングのはみ出し

シーリングがセンターサイディング表面などにはみ出した場合、変色による目立ちの原因となります。マスキングテープをセンターサイディング端部まで柄の凹凸にそってしっかり貼り、はみださないようにしてください。



14 センターサイディング施工後の換気口の施工

センターサイディング施工後に取り付けると、壁体内に湿気が入る構造となりやすく、結露、雨漏りの原因になります。

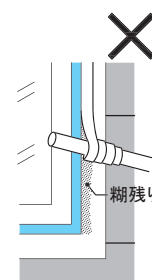


⇒ 換気フードおよびダクトはセンターサイディング施工前に取り付け、防水紙との取り合いは、必ず防水テープで防水処理をしてください。

※吹出口は、センターサイディングから30mm以上出してください。

19 粘着力の強いテープの貼り付け

センターサイディング表面に粘着力の強いテープ(布テープや養生テープなど)を貼り付けると、塗膜剥離や糊残りの原因になります。



15 先付け付属部材を固定せずに施工

先付け付属部材を固定しなかった場合、部材の脱落などの原因になります。

20 防水紙なしの外張り断熱工法施工

外張り断熱工法の場合にも、防水紙や防水テープの施工を必ず行ってください。雨漏りの原因になります。